

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成22年1月5日

化学物質等のコード : 1202-6840

化学物質等の名称 : ランタン標準液(1000ppm)

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 分類の定義上危険有害物に該当しない。
危険性 : 希薄な塩酸溶液ではあるが、塩酸は多くの金属を腐食し、その際に爆発性の水素ガスを発生する。
有害性 : 皮膚、粘膜を刺激することがある。
環境影響 : 塩酸溶液になっているので、水生生物に有害であると思われる。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物
化学名 : 塩化ランタン、塩酸
成分及び含有量 : 塩化ランタン(約0.18%)/約1mol/L(約3.6%)塩酸溶液
化学式又は構造式: 塩化ランタン LaCl_3
塩酸 HCl
官報公示整理番号
化審法 : 塩化ランタン 1 - 645
塩酸 1 - 215
安衛法 : 塩化ランタン 公表
塩酸 公表
CAS No. : 塩化ランタン 10025 - 84 - 0 (七水和物として)
塩酸 7647 - 01 - 0
危険有害成分 : 塩化水素(塩酸)

4.応急処置

眼に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流し、速やかに眼科医の処置を受ける。
皮膚に付いた場合 : 直ちに汚染された衣服やくつを脱がせる。
直ちに付着部又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。
吸入した場合 : 直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気の場合に移す。鼻をかませ、うがいをさせる。
飲み込んだ場合 : 毛布等で保温して安静にさせる。多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。速やかに医師の処置を受ける。

5.火災時の処置

不燃性ではあるが、周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

6.漏出時の措置

紙、布等で拭き取り、漏洩した場所は炭酸ナトリウム溶液を散布して中和した後、水で十分に洗い流す。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 皮膚等に付けないように、適切な保護具を着用する。
保管 : 密栓して冷暗所に保管する。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない
許容濃度 : 日本産業衛生学会 : 5 ppm 7.5 mg/m³ 最大許容濃度(HCl)
ACGIH : TLV-C 2 ppm (HCl)
設備対策 : 蒸気発生源はできるだけ密閉化するか、又は局所排気装置を設置する。

保護具：必要に応じて保護手袋、保護眼鏡を着用する。

9.物理的及び化学的性質

外観等：無色液体、わずかな刺激臭
沸点：約100
融点：約0
揮発性：無
比重：約1(20)
溶解度水：自由に混合

10.安定性及び反応性

不燃性である。塩酸は多くの金属を腐食し、その際に爆発性の水素ガスを発生する。
安定性・反応性：約3.6%の塩酸溶液になっているので、アルカリと反応する。

11.有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

刺激性(皮膚、眼)：皮膚、粘膜を刺激することがある。
急性毒性(50%致死量等を含む)：
経口摂取すると胃を刺激し、悪心、嘔吐を起こす。
(塩酸として)
ウサギ 経口 LD50 = 900mg / kg
マウス 吸入 LC50 = 3,124ppm / 1H
(塩化ラジウムとして)
ラット 経口 LD50 = 4,200mg / kg
ラット 腹腔内注射 LD50 = 106mg / kg
マウス 静脈注射 LD50 = 18mg / kg
亜急性毒性：データなし
慢性毒性：データなし
がん原性：データなし
変異原性：データなし
生殖毒性：データなし
催奇形性：データなし

12.環境影響情報

分解性：データなし
蓄積性：データなし
魚毒性：水生生物に有害である。
魚類に対して25mg / lで致死。(塩酸として)

13.廃棄上の注意

水酸化カルシウム溶液に加えて中和した後、多量の水で希釈して処理をする。

14.輸送上の注意

輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確認、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

国連分類：クラス8(腐食性物質) PG
国連番号：1789
海洋汚染物質：非該当

15.適用法令

労働安全衛生法：名称等を通知すべき有害物
(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
(政令番号 第98号)
特定化学物質等障害予防規則、第三類物質
消防法：非該当
毒物及び劇物取締法：非該当(「塩化水素10%以下を含有するもの」であるため)
化学物質管理促進法(PRTR法)：非該当
船舶安全法(危規則)：腐食性物質
航空法：腐食性物質
海洋汚染防止法：施行令別表第1、有害液体物質、Z類物質
大気汚染防止法：第十七条第一項(特定物質)

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)

化学物質の危険・有害便覧
化学大辞典
安衛法化学物質
産業中毒便覧(増補版)
化学物質安全性データブック
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)
化学物質の危険・有害性便覧

中央労働災害防止協会編
共同出版
化学工業日報社
医歯薬出版
オーム社
三共出版
労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですが、かならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。